「におい」の正体を突き止めろ！
～異臭事件を科学で解き明かす～

ほかんけん研究者体験

令和8年
8月
7日
13:30
〜
16:00

臨時号

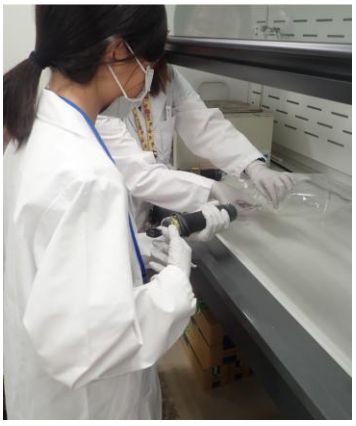
場所：福岡市保健環境研究所
対象：中学生・高校生

複数のデータを手がかりに異臭事件の謎に挑戦！
中高生研究員10名が参加

市内で起こった広域的な異臭事件（仮定）について、中高生研究員らが原因究明を行った。通報内容の整理から、サンプリング、検査、解析の一連のプロセスを体験し、異臭の原因物質と発生源を突き止めた。







サンプリングバックに採取した異臭を含む空気の成分を検知管で測定した。さらに、ガスクロマトグラフ質量分析計（GC-MS）のデータを解析。複数の結果を照らし合わせ、異臭の原因物質を突き止めた。

発生源は火山？

原因物質を特定した後は、広域の大気成分濃度変化や風向きなどのモニタリングデータを基に、異臭がどこから来たのかを調べた。中高生研究員はさまざまな手がかりを組み合わせ、火山ガスが風に乗って福岡まで運ばれてきた可能性を導き出した。



研究員の感想

体験後のアンケートでは、
「実際に測定して考えるのがおもしろかった」
「検知管などの測定やサンプリングを体験できてとても面白かった」
「一つの根拠だけでは判断せず、様々な情報を総合的に判断することが重要だとわかった」などの感想が寄せられた。

